

## 秋田市エイジフレンドリーパートナーおよびシンボルマークについて

### 1 エイジフレンドリーパートナーの概要について

秋田市と連携してエイジフレンドリーシティの実現に取り組んでいこうとする企業・事業者等を「エイジフレンドリーパートナー」として登録します。

登録事業者は「エイジフレンドリーパートナー」を宣言するなどして、高齢者や障がい者などにやさしい取組を継続して進めていくことにより、民間サイドからエイジフレンドリーシティの推進を図ろうとするものです。

これまで、登録第1号の(株)秋田銀行、第2号の(株)境田商事、第3号の秋田キャッスルホテルがパートナーとして登録されました。

企業・事業者は、「エイジフレンドリーパートナー」として高齢者にやさしい取り組みを進める重要性や必要性を広く理解してもらうことで、パートナー登録数を増やし、事業者と一体となってエイジフレンドリーシティ実現に向けて取り組みます。

### 2 シンボルマークについて

秋田市のエイジフレンドリーシティの取組を市内外に広く周知し、より多くの人に関心をもってもらうため、「秋田市エイジフレンドリーシティ」シンボルマークを制定しました。



- 作者氏名 ほり ひろゆき 堀 弘 幸さん(54)
- 職業 自営(デザイン)
- 住所 山梨県甲府市
- 作者による作品説明

エイジフレンドリーと秋田市の頭文字Aをモチーフに、やわらかな一筆書きの曲線で高齢者にやさしい都市を表現しました。色彩は、シルバーの線に明るい色調で、親しみやすくフレンドリーなイメージをデザインしました。

公募したところ、30都府県から142点の応募が寄せられました。秋田県からは33点の応募があり、秋田市からは29点、うち秋田公立美術大学の学生からは7点でした。

6月3日にシンボルマーク選定委員会(青木隆吉委員長)を開催し、採用作品を選考しました。

今後は、シンボルマークをデザインしたピンバッジ、クリアファイル等を作成し関係者へ広く配布するなど、多くの市民にエイジフレンドリーシティをより身近に感じてもらえるよう積極的に活用していきます。